



おぐに議会だより

第33号

平成30年11月10日

○平成30年 9月定例会

○町政を問う(一般質問)

表紙の写真

＜西里はげの湯地区の紅葉＞

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1 TEL.0967-46-2119

平成30年9月定例会 平成30年9月11日～20日

9月11日から20日にかけて平成30年9月定例会が開催され、平成29年度一般会計並びに特別会計の決算が認定されました。

決算審査では、石松代表監査委員の決算審査報告も行われました。補正予算では6月・7月の豪雨災害による災害復旧工事費など3億8千1百万円の追加補正が可決されました。

そのほか、荒倉地区林地荒廃防止施設等災害復旧治山工事の締結、薬味野菜の里小国及び循環型農業堆肥舎の設置及び運営に関する条例の制定、水道事業給水条例の一部改正、後期高齢者医療広域組合規約の一部変更、一般会計補正、国保特別会計補正、介護保険特別会計補正などが可決されました。



第3回定例会の様子



石松代表監査委員の監査報告

議会議員の定数を定める条例を改正!

議員からの発議として「議会議員の定数を定める条例の一部改正」が上程され、賛成多数で可決され、現在の議員定数12名が、次回（来年）の選挙から10名に改正されることとなりました。

平成30年第2回臨時会

平成30年8月7日

8月7日(火)午前10時から小国町隣保館で臨時議会が開催され、中学校バドミントン競技九州大会出場補助金等の専決補正予算と、自治体SDGs関連予算を含む一般会計補正予算(第3号)、町営住宅関田団地の外壁・屋根改修工事の公共工事請負契約締結についての議案が全会一致で承認・可決されました。



第2回臨時会の様子

工 事 名	落札業者	落札金額
町営住宅関田団地外壁・屋根改修(建築主体)工事	株式会社 橋本建設	8,370万円

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
臨時会 第2回	承認第3号	専決第4号 平成30年度小国町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第33号	平成30年度小国町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	公共工事請負契約の締結「町営住宅関田団地外壁・屋根改修(建築主体)工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会(9月11日～20日)	議案第35号	公共工事請負変更契約の締結「荒倉地区林地荒廃防止施設等災害復旧治山工事」	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	小国町薬味野菜の里小国の設置及び管理に関する条例の制定 …薬味野菜の里小国の設置及び運営に必要な事項の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	小国町循環型農業堆肥舎の設置及び管理に関する条例の制定 …循環型農業堆肥舎の設置及び運営に必要な事項の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	小国町水道事業給水条例の一部改正 …手数料区分や給水装置の切断時の判断基準を明確化	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	小国町簡易水道事業給水条例の一部改正 …手数料区分や給水装置の切断時の判断基準を明確化	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更 …広域連合の議会組織や選挙方法に関する規約改正 【反対討論】①議員選出の方法が住民の意見を反映するものとなっていない。②規約変更案について一度も議論されていない。 (児玉議員)	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	議案第41号	平成30年度小国町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	平成30年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	平成30年度小国町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第1号	平成29年度小国町一般会計歳入歳出決算認定 【反対討論】①予算の使い方に無駄がある。②入札の在り方に問題がある。 (児玉議員)	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	平成29年度小国町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 【反対討論】高い保険税・保険料が住民の負担となっている。 (児玉議員)	認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	認定第3号	平成29年度小国町介護保険特別会計歳入歳出決算認定 【反対討論】高い保険税・保険料が住民の負担となっている。 (児玉議員)	認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	認定第4号	平成29年度小国町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 【反対討論】高い保険税・保険料が住民の負担となっている。 (児玉議員)	認定	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成29年度小国町地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
9月定例会(9月11日～20日)	認定第6号	平成29年度小国町坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定 【反対討論】文化の在り方に問題がある。(時松唯一議員)	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	認定第7号	平成29年度小国町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第9号	平成29年度小国町水道事業会計利益の処分及び決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第3号	議会議員の定数を定める条例の一部改正 【反対討論】定数変更は議会の根幹に関わるものであるが、ほとんど議論されていない。(児玉議員) 【賛成討論】①県内の人口状況や財政状況、住民の意見からも削減すべきである。②定数改正の時期もできるだけ早いほうが良い。(松崎議員)	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○

町政を問う【一般質問】



普通教室へのエアコン設置を急げ

児玉 智博

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。

【教育委員会事務局】6月下旬から9月の延べ26日間、小中学校の各階の温度と湿度を測定した。30度を超す日が殆どで、湿度は雨天時に80%を超す日があったが、それ以外は70%程度で推移した。



路線バス・乗合タクシーの 今後

熊谷 博行

【町長】この乗合タクシー制度を始めて数年経つが、財政的にも一定の金額がかかっており、評価も頂いている部分でもある。今後は小国中心の宮原を周遊するような方策が出来ないか執行部内部で考えていきたいと思っている。

【町長】この乗合タクシー制度を始めて数年経つが、財政的にも一定の金額がかかっており、評価も頂いている部分でもある。今後は小国中心の宮原を周遊するような方策が出来ないか執行部内部で考えていきたいと思っている。

あれから数ヶ月経つたが今後の考え方を問う。

【政策課長】このバス路線においては、観光地を抱えているという部分もあるので、慎重に住民と回数を重ねさせてもらいたいと思う。

【町長】この数年災害が日本全国で発生している。我が町からも8月中旬から下旬まで被災地へ職員を派遣し、罹災証明書発行業務等を行ったと思うが、今後は現場へ派遣もあると思う。その際、職員のなかに被災地危険度判定士等の講習を受講し、登録された職員は何名か。また、今後の考えを問う。

【総務課長】現在1名の職員が受講し登録済みであり、今後、1名を近日中に受講させる予定である。大変重要な仕事と認識している。



第7期小国町高齢者福祉計画並びに第2次男女共同参画社会づくり計画について

北里 勝義

【町長】誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて、働き方改革と併せて高齢者の就労促進、子育て環境の整備、介護の環境の整備も進められている。町が取り組んでいる2つの計画も、国の取組みに呼応した大事な計画と取組みについて町の考えを問う。

【福祉課長】第7期小国町高齢者福祉計画・介護保険事業計画概要版を作成して町民周知に努めている。推進体制については、地域包括支援センターを中心に社会福祉協議会、小国郷医療福祉安心ネットワークや民間の介護保険施設等と連携を図りながら推進していきたい。

【住民課長】第2次男女共同参画社会づくり計画については、第1次計画で行った男女共同参画に関する意識調査結果を踏まえ、継続して広報・啓発活動、研修会等を進めていきたい。また推進体制については、推進懇話会や庁内推進会議を中心に、住民、企業、



男女共同参画社会づくり計画・高齢者福祉計画

各種団体等と連携を図りながら「一人ひとりが輝いて暮らすまち」に向けて取り組んでいきたい。【町長】町にはあらゆる計画があるが、その計画をどのように進めるか、推進体制を把握し、町民や関係団体等といった取り組みたい。



観光全般について

穴井 帝史

【情報課長】委員はツーリズム協会、ゆうステーションカンパニー、杖立温泉観光協会、杖立温泉旅館組合、わいた温泉組合の計12名で構成され、事務局は情報課が担当している。従来の捉え方を大きく見直し独自スタイルとして地域総合商社の機能を持たせ、観光と農業・商工業との連携を図り小国のあらゆる産業の浮揚を目指す事を目的としている。また、来年4月の立ち上げは大丈夫と思う。

【情報課長】委員はツーリズム協会、ゆうステーションカンパニー、杖立温泉観光協会、杖立温泉旅館組合、わいた温泉組合の計12名で構成され、事務局は情報課が担当している。従来の捉え方を大きく見直し独自スタイルとして地域総合商社の機能を持たせ、観光と農業・商工業との連携を図り小国のあらゆる産業の浮揚を目指す事を目的としている。また、来年4月の立ち上げは大丈夫と思う。

【情報課長】主に事務局費だが、準備委員会でも議論になっており、採用も未定で町の観光情報発信に効果のある事業、また、必要と判断されたものに対し実施したい。

金も少なくなる。滞在型もしくは宿泊増を目指してもらいたい。また、インバウンド対策も、小国は小規模の宿泊所が多いので、大型バスで来町される方以外の家族型インバウンドの取り組みに力を入れてはどうか。

【情報課長】来年度は、熊本においてもスポーツイベントが開催される。関係者と話し合い知恵を出していきたい。

【鍋ヶ滝について、4月からの値上げに伴い、入場者は減少していないか。】

【情報課長】4月から8月末までの5ヶ月間で12万9千人となっており、8月においては4万8千人を超え、過去最高来客数となり、5ヶ月間で3万700万円の売り上げがあった。

【鍋ヶ滝バイパスの早期着工はできないか。一番問題なのは、沿線住民の方々の不便さだと思うので、是非ともお願いしたい。】

【町長】今年度も予算組みをし、基本計画・実施計画を行ったが、用地買収等いろんな作業が発生してくる。地元住民にご迷惑をかけているので、できるだけ早くという思いはあるが、他の事業も多々あるので順次やっていく。



地籍調査の筆界未定地解消に向けて

大塚 英博

【地籍調査で境界が決まらない筆界未定地の解消に向けての対策を問う。】

【税務課長】事前説明会の時に、筆界未定地が後々まで面倒であることを十分に説明して、地権者に協力をお願いしている。

【住宅用地の固定資産税の特例について問う。】

【税務課長】住宅が無くなれば、六分の一の特例措置が無くなる。災害にも二年間の特例措置が受けられる。

【道路沿線の雑木伐採について問う。】

【建設課長】本来は地権者にお願するの筋だが、どうしてもできない事情がある場合は、予算の範囲内で対処している。国・県道については、県に要望して対応をお願いしている。

【高齢化と担い手不足が進む農業について、増大が予想される耕作放棄地の対策について問う。】

【町長】農地パトロールの実施に



道路沿線の雑木等

において、農地に復元できない農地においては山林や他の目的への転用も視野に入れている。

【国土地の所有者に沿った、農用地、農振地の思い切った農地転用を図ってはどうか問う。】

【町長】法律に基づきながら町民サービスをしていくしかないの、御理解していただきたい。



SDGs及びまちづくり条例案 に関する検証について 時松 唯一

【町長】SDGsのプロポーザルを小国町管外業者に委託する前に、自分たちで考えてみることはしないのかを問う。

【政策課長】プロポーザルを全国的に公募し進めていく所存。各課連携をとりながら目標に向けて頑張りたい。

【町長】プロポーザル決定後の取りまとめ役を委託事業体とし、アドバイスをいただきながらしっかりと計画を作っていきたい。

【町長】小国町総合防災マップの中にある土砂災害特定区域である蔵園川の土流にメガソーラーを作り、その調整池から水を排出することについての危険性を、別所、長箴、蔵園だけでなく、町全体の問題として住民、町全体に広報する考えはないのかを問う。

【政策課長】上田合志地区メガソーラーにおいて事業主のほうで説明会(全体、2部もしくは水利権者、3部、上田協議会)を幾度となく開いている。協議会から工事中の落水の注意喚起及び不測

の事態の対処をお願いするなど意見を聞いた。それを踏まえ町長と協議し、町のまちづくり条例で協議終了を4月に出している。

【蔵園川の災害時の安全を最優先で求める中で、事業者から何の説明もない。このような状況で災害が発生した場合、蔵園川流域の住民はどこに安全を求め、誰に言えいいのかを問う。

【政策課長】今回のメガソーラーは営農型ということで農地法関係の部分で県の許可である。町としては事業者と環境協定を結んでいる。それを担保に工事中の安全や大水が出たときの対処を協定の中で謳っている。

【町長】地域住民の同意なくなぜ建設ができるのかを問う。

【政策課長】集落からの要望、相談が正式には上がってきていない。現時点では許可関係が下りており、手続きを終えたことで事業者が進めている。民間事業者へ要望や心配事があるということを伝えてほしい。その後の答えによって行政も考えていきたい。



認定こども園

松本 明雄

【町長】地域交通の問題は非常に重要であるため、今後も継続的に検討していきたいと思う。

【保育園の今後の方向性として、宮原保育園に園児が集中し狭さと老朽化で建て替えが必要だと思う。その中で国も推進し、他の市町村においても進められている認定こども園に移行することで、0歳児から18歳までの切れ目のない教育ができるのではないかと思うがいかがか。

【町長】保育園や就学前教育・子育てについて法律と制度が変わってきている。県内や他の市町村の視察をもう少し重ね、どういった形がいいか検討していきたい。

【保育園長】認定こども園には幼稚園型と保育園型とあり、これからの小国町の就学前教育、保育園の在り方としては、小国の子どもたちのために様々な方向性や可能性を探っていきたいと思う。



宮原保育園

ている。

【町長】守秘義務として地方公務員法の中にもしつかりとした決まりごとがある。正職員だけでなく臨時・非常勤職員共々、指導している。

【総務課長】地方公務員法第34条「職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。」と謳っている。この場合の秘密とは、一般的に知られていない事実であって、それを一般に知らせることが一定の利害の侵害となると客観的に考えられるものとなっている。

【町長】保育園や就学前教育・子育てについて法律と制度が変わってきている。県内や他の市町村の視察をもう少し重ね、どういった形がいいか検討していきたい。

平成30年 第1回 ゆうステーション周辺整備特別委員会 平成30年7月25日

- 7月25日(水)の議員勉強会終了後に小国町森林保全センターで、平成30年第1回ゆうステーション周辺整備特別委員会が開催され、今回は、多目的モデルハウスの設置位置の変更についての審議が行われました。



平成30年 第4回 議会活性化推進特別委員会 平成30年9月18日

- 9月18日(火)の全員協議会終了後に小国町隣保館で、平成30年第4回議会活性化推進特別委員会が開催され、議会議員政治倫理条例案の一部修正についての審議が行われました。



全員協議会

平成30年9月5日

- 9月5日(水)午前10時から小国町隣保館で、平成30年第4回全員協議会が開催されました。執行部から9月議会に提案予定の条例や補正予算についての報告があり質疑が交わされました。

議員研修 北海道【八雲町、松前町、江差町】

■小国町議会は9月25日から27日までの3日間、北海道内の八雲町、松前町、江差町で八雲町議会基本条例をはじめ、コミュニティバスの運行や観光のまちづくりの取り組みについて研修を実施しました。

議会活性化の取り組み 八雲町

■「開かれた議会」、「わかりやすい議会」を確立させるとともに議会機能の強化と活性化を図るため、議会改革調査特別委員会を設置し、32回にわたり議論を重ね、平成25年に「議会基本条例」を制定されたと聞きました。

また、新たに「自由討議の導入」や「インターネット配信」、「議会報告会」、「一般会議の開催」など、町民への説明責任を果たすための取り組みを始めたことも聞きました。



コミュニティバス運行の取り組み 松前町



■松前町は、平成20年から公共交通の在り方について議論を続け、平成23年度に総務省の過疎対策事業により地域生活バス「大漁くんバス」の試験運行やアンケート調査を実施し、平成26年より本格運行を開始しています。

運賃をどこまで乗っても100円としたこともあり、平成29年度は目標値の6万人を超える利用者となり、住民の大切な足となっていると聞きました。

日本遺産認定に伴う観光のまちづくり 江差町

■江差町は、北前船貿易によりもたらされた江差追分などの伝統芸能や生活文化が数多く伝承されている町で、ニシン漁で繁栄した街並みを平成16年に「いにしえ街道」として整備し、「歴史を活かすまちづくり事業」を展開してきたと聞きました。

更に平成29年4月に「日本遺産」の認定を受け、国の補助により観光スポットの整備や普及啓発と観光客受け入れ態勢の整備を行っています。今後は、「人口の少ない町を日本遺産で盛り上げていきたい」と話されていました。

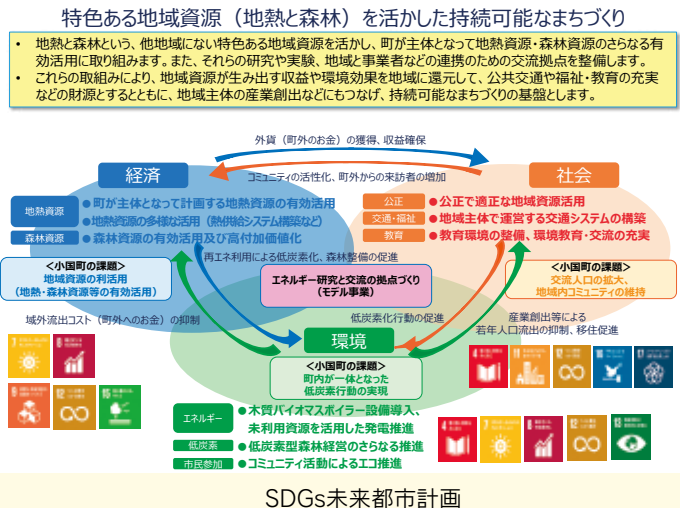
また、実際に「いにしえ街道」の一部などを見学しました。街並みを紹介するために新たに取り入れたバーチャルリアリティを活用した観光体験の説明を受けました。



議員勉強会

■7月25日(水)午後1時30分から小国町森林保全センターで議員勉強会を開催しました。執行部から①SDGs未来都市計画及びモデル事業についての報告、②地熱開発の現状についての報告があり意見交換を行いました。

■9月5日(水)午後2時から小国町隣保館で議員勉強会が開催されました。
今回は議員定数について意見交換を行いました。



熊本県町村議会議員研修会

平成30年10月4日

■10月4日(木)午後1時30分から嘉島町の嘉島町民会館で県内の町村議会議員の研修会が開催されました。

研修では、「地方創生とまちづくり～地域経済の好循環をつくる～」と題して株式会社いそどり代表取締役社長の横石知二氏の講演がありました。



講師の横石氏

阿蘇市町村議会議員研修会

平成30年10月19日

■10月19日(金)午前10時20分から南小国町役場の「きよらホール」で郡内の市町村議会議員合同の研修会が開催されました。



阿蘇市町村議会議員研修会

研修では、「アベノミクス、改憲、参院選3選安部政権の課題と展望」と題して政治ジャーナリストの泉 宏氏の講演がありました。

また、午後からは南小国町山村広場でグラウンドゴルフ大会も開催されました。



講師の泉氏

編集後記

秋の例大祭も終わり秋本番ですが、年々祭りの賑わいに縮小感があります。私は38年間、相撲に携わっていますが、客数も年々減少気味です。原因は何か、答えは簡単です。人口減と高齢化、今の町の課題ポイントです。赤ちゃん土俵入りは、40人の男の子がいたのにと考えさせられます。

全てが小国の子ではないわけです。打開策は、我々議員と、町民で考えていくべきだと思います。

平成30年も残り2ヶ月を切りました。「平成」最後の冬に突入します。建設中の小国町民センターも完成間じかとなりました。

皆様、楽しみに期待しましょう。
(熊谷)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長 熊谷 博行

副委員長 穴見 まち子

委員 松崎 俊一

委員 穴井 帝史